



Lifesupport☆ボランティアだより

2022. 2月号

(社福) ライフサポート協会 障がいグループホーム/ボランティアコーディネーター 朝倉
 寒い日が続いていますが、みなさんいかがお過ごしでしょうか？今年も各地で大雪が見られ、非常に寒い年末
 年始になりましたね。世間では再びコロナの感染者が急増するなど、私自身またか〜…という気持ちが拭え
 ません。。ただステイホームでの時間を少しでも楽しめるように、小説やマンガを買ってみたり、最近では珍し
 い紅茶やコーヒーを購入したりしようかとたくらんでおります♪
 みなさまも自分の機嫌をとりながら少しでも快適にお過ごし下さい♪

「ボランティア活動アンケート&登録継続の確認」 のご提出をお願いします！

ボランティア登録は年度更新制です。同封の別紙アンケート用紙に必要事項をご記入の上、返信用封筒に
 て各自必要書類をご提出下さい。今回も、コロナ禍における皆さんの現状をお伺いしています。
 登録更新とあわせてご回答よろしくお願ひします。

○提出切→2022年 3月 11日 (金)

○継続希望者→引き続き「ボランティアだよりの送付 (※希望者のみ)」「募集のご案内」をします。

「ボランティア保険」は、当協会での加入か、他の活動を通じての加入かを回答下さい。

※ボランティア保険は全国共通です。他で加入した場合も当協会のボランティア活動に適用されます。

○無回答 (及び継続なし) →登録を終了します。(終了後も「またボランティアしたい!」ということ
 であれば年度途中でも登録可です。いつでも Welcome! ご連絡をお待ちしています。)

○パフォーマンスボランティア

個人ボランティア同様、「年度更新制」です。

現在の活動状況含め、活動ご協力の有無をあらためてお伺い致します。

お問い合わせ及びアンケート&登録継続確認の提出先

〒558-0054 大阪市住吉区帝塚山 東 5-8-3 住吉総合福祉センター
 社会福祉法人ライフサポート協会

ボランティアコーディネーター 崎本・奥谷・朝倉

電話：06-6678-7572 FAX：06-6678-7573

メール：volun-cheer-fully@lifesupport.or.jp





◇わたしのボランティア体験記◇

今回は小規模多機能型居宅介護（高齢系）

「きずな」の中谷さんです♪自身の活動ではなく、お父さんのボランティアに対し、母親として感じたことをまとめてくれています☆



☆子どものボランティアを通して親が思うこと

子どもがボランティアを始めたのは、高校1年生のときでした。大学生のリーダーを中心に小学3年生から中学3年生までの人たちと過ごす一週間のキャンプでした。子どもがキャンプに参加しながら、目標とするリーダー像ができ、大学生になった時はリーダーになることを目標としていました。

ボランティアとして参加した年から3年間、事前準備の研修や現地下見、参加者への電話連絡など、様々なことにチャレンジしていました。その中でも一番苦労していたのが、リーダーとの人間関係だったと思います。準備期間が始まり、キャンプ終了日までの数ヶ月、予想以上の信頼関係ができる年とできない年があり、毎年変わる大学生の人たちとの人間関係が難しいとつぶやいていたことを思い出します。

そして子どもは今、専門学校に通っています。専門学校生活の中で、報連相の大切さや、コミュニケーションの大切さ等、ボランティア経験の中でたくさん得たと痛感しているようです。

去年の夏に「キャンプに行きたいな」と久しぶりに聞く子どもの素直な言葉がありました。コロナ禍でキャンプが二度中止になり、心の整理ができたのか、それとも子ども心が成長したのか、「みんなに会いたい」と願う素直な気持ちに、親として嬉しく思った一言でした。

キャンプを通して知り合った方々が子どもの成長過程にどれだけの影響を与えてくれたのかと思うと、ボランティアの重要性を再確認したひと時でした。



次回のボランティア体験を教えてください下されるのは…
ライフサポート協会でのボランティアを機に、
当法人へ就職した職員です♪次回もお楽しみに～(^^)*

このコロナ禍でも行なえる活動をみなさんと共に模索しながら、

ボランティアを進めていきたいと思っておりますので、

2022年度のボランティア登録継続、アンケートの回答をよろしくお願い致します。

